

演奏が容易な音楽演奏システムと 楽譜表示システム

Keywords 音楽演奏, タブレットPC, 数字譜, 楽譜データベース

01 本研究の適用分野・用途

- 音楽演奏経験のない高齢者のQOLの向上.
- 介護者と高齢者とのコミュニケーション.
- 介護施設における使用.

02 アピールポイント

- 数字や色を用いたユーザインタフェースを持つ演奏システム.
- 数字や色を用いた楽譜を表示.
- 著作権が消滅した楽曲のデータベースを提供.
- Windowsタブレット上で動作.

研究概要

[背景と目的]

音楽療法では一般に音楽聴取と歌唱が用いられる。音楽演奏経験のない高齢者や介護者が楽器を演奏することは難しい。

→ 誰でも容易に演奏できるシステムを提供する。

[方法]

- 五線譜の代わりに、数字や色や音名を用いた楽譜を作成。
- 各楽譜に対応するユーザインタフェースをタブレットPC上に作成。

[評価結果]

- 演奏のみの場合：五線譜より音名譜の方が使いやすい。
- 演奏しながら歌う場合：五線譜より数字譜の方が使いやすい。

[今後の課題]

- 楽譜データベースの充実
- 既存楽曲の再利用

